

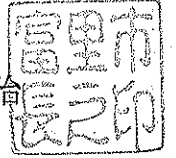


富 都 第24号

平成19年5月 8日

国土交通省道路局長 様

千葉県富里市長 相川 堅治



中期的な計画の作成に当たっての意見の提出について

平成19年4月2日付、国道企第114号でご依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

中期的な計画の作成に当たっての意見

富里市を含む空港圏周辺道路網の整備につきましては、千葉県においても平成7年に策定された成田空港周辺地域振興計画の中で「空港とともに栄える地域の実現に向けて、道路の整備の促進を図っていくこととする」となっておりますが、環状道路や放射道路を含めた道路網整備については、一部で事業が進められているものの、依然として慢性的な交通渋滞や安全性への問題等、周辺住民並びに通過車両をはじめ、有効な土地利用にも影響を及ぼしており、整備の遅れは歪めません。

このままでは、空港等の機能だけが充実し、周辺地域の道路整備等が追いついていかない状態となり、周辺地域の発展や住民の空港に対する意識に格差が生じることが懸念されます。

このような状況を踏まえ、以下の点について上申いたします。

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

成田国際空港周辺の広域的な主要幹線道路の整備

- ①国道296号及び国道409号の既存道路の拡幅
- ②（仮称）成田環状道路により成田拠点地域の外周形成
- ③（仮称）都市間幹線（東関東自動車道酒々井ICに係る国道296号バイパス）の整備
- ④国道409号の七栄地先・成田小見川鹿島港線の成田地先の新規路線の整備

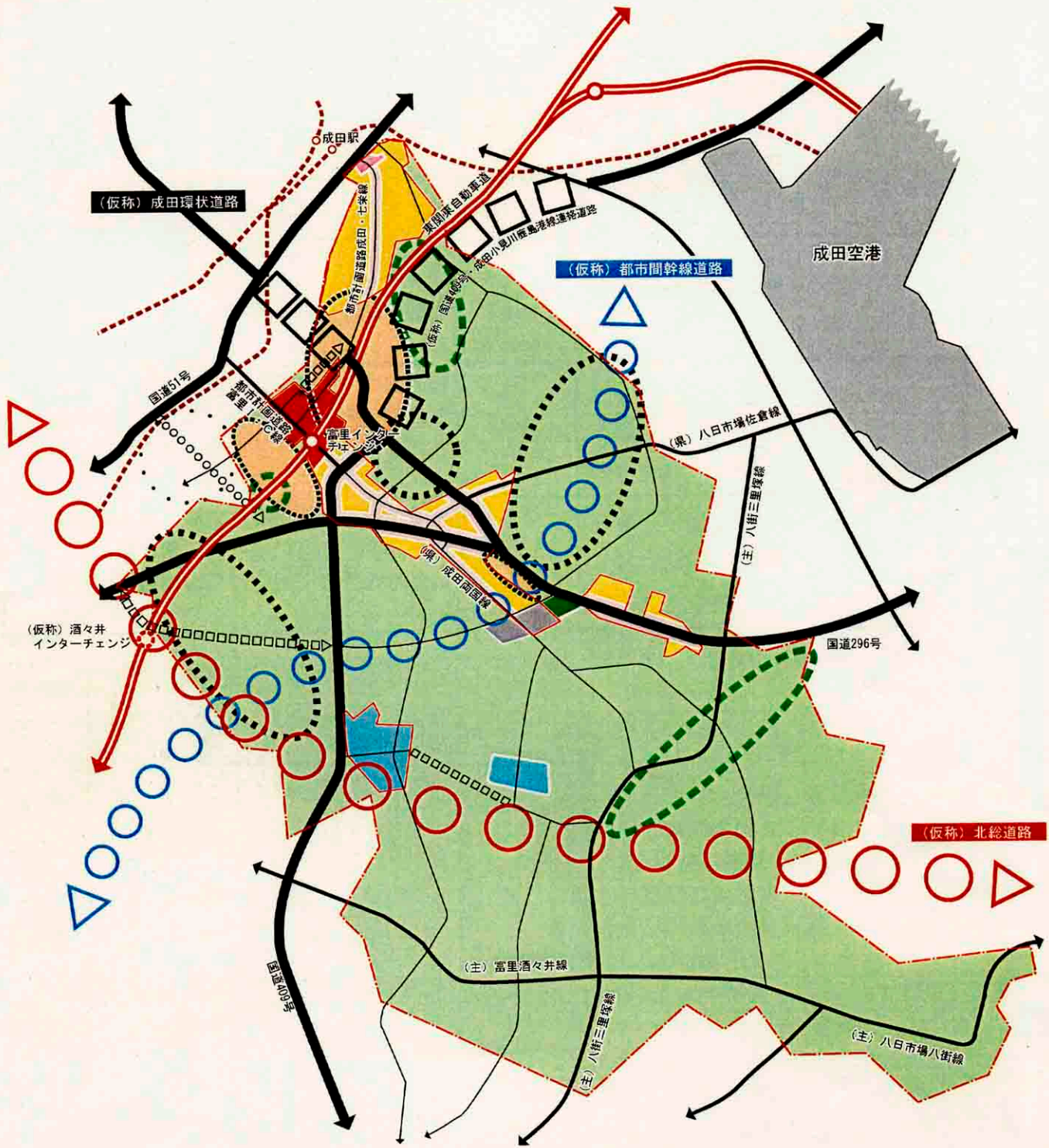
○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

費用対効果を考慮し、ネットワーク形成の不十分な道路網などは、事業の再評価も考慮することによって、無駄な事業の削減を図る。

○その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

まちづくり交付金について、各種基幹事業を組み合わせ、また、提言事業もおこなえることは非常に有効なことと考えますが、事業費が拡大し、自主財源に苦慮している自治体もあり、ますます地域格差が広がる傾向にあるため、ご考慮をお願いしたい。

【土地利用方針図】



住宅地	新市街地検討地	広域幹線道路 (既存道路)
商業地	新市街地及び開発構想検討候補地	広域幹線道路 (想定構想道路)
生活サービス地	農地・集落地	主要幹線道路 (既存及び既計画決定道路)
複合業務地	行政区域	主要幹線道路 (構想道路)
工業地	現行市街化区域	主要幹線道路 (想定構想道路)
行政文化等施設地		幹線道路 (既存及び既計画決定道路)
公園・レクリエーション系施設地 (既存)		補助幹線道路 (既存及び既計画決定道路)
公園・レクリエーション系施設地 (計画・構想)		補助幹線道路 (構想道路)
		補助幹線道路 (想定構想道路)